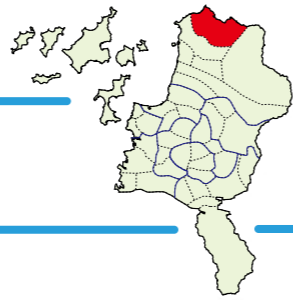


あさ なみ
浅海地区

人口: 1,020人(高齢化率53.1%)
世帯数: 524世帯

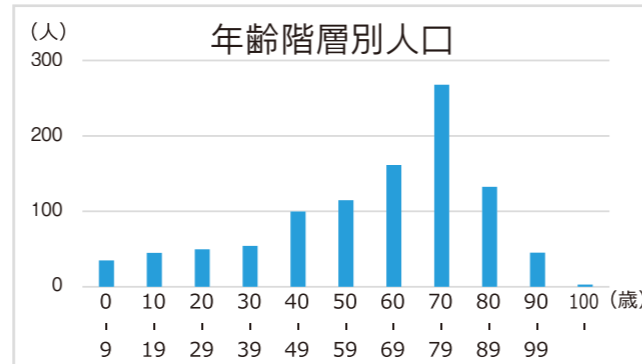


【地区の特色】

松山市の最北端に位置し、国道196号線に沿っている。東南に恵良山、西に腰折山、新城山、北に名石山、千波ヶ嶽と三方を山に囲まれているが、しまなみ海道の開通により交通量が増加した。最近の生活様式の多様化により兼業農家に移行しつつあり、かんきつ地帯として将来発展の道をたどる地区である。また、地区住民の協調的な意識は盛んであり、人情も細やかで各種社会教育的な行事に参加しようとする気風も高まりつつある。



ふるさと夏祭り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事(運動会、まつり等)に多数の人が参加する ・知り合いが多い ・自然がある(海、山) ・コスモス畑 ・遍路道、遍路宿がある ・神社 ・あさなみマルシェの実施 ・公民館、保育園、小学校教員など地域の各種団体との繋がりが強い ・近隣住民間での共助の風習がある(見守り) ・おいしい高級柑橘(紅まどんな・せとか・甘平)の栽培 ・新たな通いの場(水曜どうでしょう)の開催
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関がない ・スーパー、コンビニ等がない ・交通の便が悪い ・空き家の増加 ・少子化、高齢化 ・農業の後継者が少ない
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやコンビニがなく買い物に不便 ・医療機関がない ・高齢者のゴミ出し ・交通の便が悪い ・各種団体の後継者不足 ・高齢者の増加による災害時の援護等の不安

浅海地区社会福祉協議会

思いやり・温もり・感動・笑顔の浅海

構成団体	地区民協・公民館・分館・日赤奉仕団・保護司会・小学校・保育園・PTA・消防団 高齢クラブ・区長・交通安全協会・みまもり員
------	---

主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回(8月、2月)作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。
通いの場の実施(水曜どうでしょう)	介護予防や生きがいがづくり、また健康や介護について相談できる住民だれもが参加できる通いの場です。毎月第3水曜日に公民館で実施しています。
独居高齢者給食サービス	年3回、地区内の独居高齢者を対象に、お弁当を配布しています。

伝統文化の継承(浅海獅子舞保存会)

浅海獅子舞は地域住民の無病息災、五穀豊穡等の願いを込めて地元神社に奉納される伝統芸能として受け継がれています。永く後世に伝え継ぐとともに、地域振興のために活動をしています。子どもから大人まで、伝統文化の継承を通じて世代間の交流にもなっています。



<地区社協が目指すもの>

地区の住民の中で65歳以上が半数を超えるようになった一方で、小学校の児童の数は年々減少をしています。このことを踏まえて、高齢者福祉の向上と子供たちの健全育成を活動の原点と認識し、高齢者が誰でも気軽に参加できる通いの場の運営やサロン活動の助成を積極的に実施するとともに、まちづくり協議会や公民館の催し物、加えて小学校の行事などにも協力をして世代間の交流を進めます。また、高齢者や子供たちが安心して、安全に暮らせるような環境を目指して見守り活動を継続していきます。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	9団体
	民生委員	5名	■高齢クラブ	1クラブ
	主任児童委員	2名	■子ども会	0団体
	■まち協の設立	平成28年度	■自主防災組織	3組織

スーパーやコンビニがなく買い物に不便という課題を抱えていますが、「あさなみマルシェ」の開催や、地域住民の高齢化に向けて介護予防や生きがいがづくりをめざし通いの場「水曜どうでしょう」を開設するなど課題発見力と課題解決力を持ち合わせた地区です。また「浅海獅子舞保存会」を中心に子どもから大人まで伝承文化の継承に取り組んでおり、子どもたちはこうした活動に参加することによって地域の歴史を知り、地域住民と共に世代を超えた交流を通して地域のアイデンティや感性を培う貴重な機会となっています。

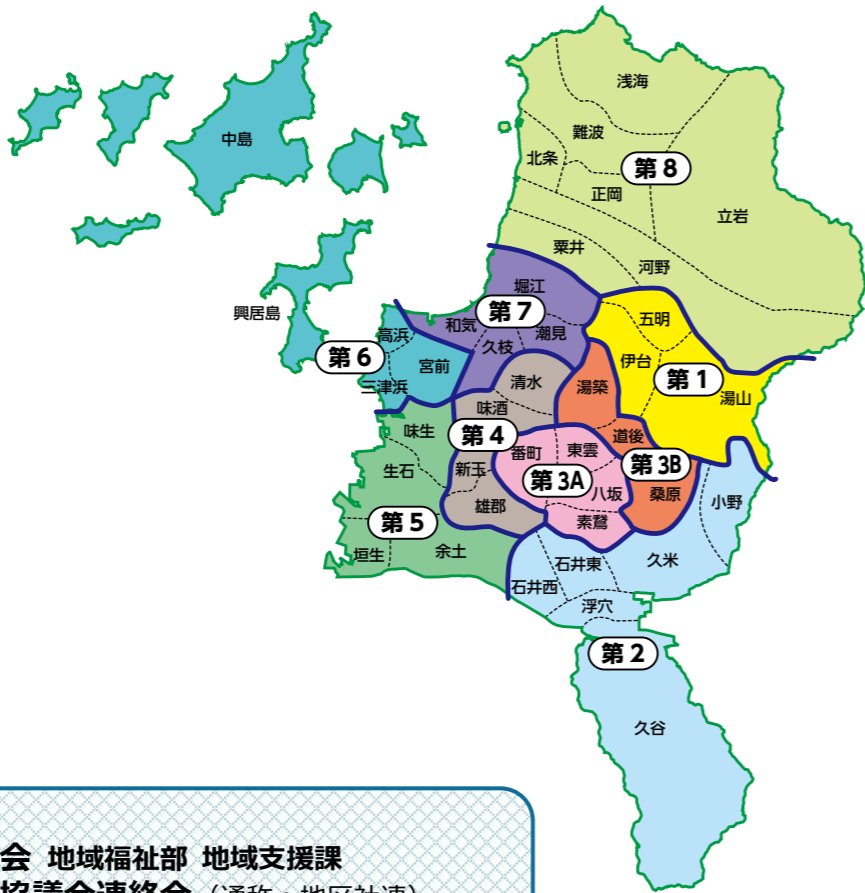


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第3A	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3A	番町地区	第3B	道後地区	第4	雄郡地区
	八坂地区		湯築地区		新玉地区
	東雲地区		桑原地区		清水地区
素鷲地区			味酒地区		
第3B	道後地区	第5	余土地地区	第5	垣生地区
	湯築地区		生石地区		生石地区
	桑原地区		味生地区		味生地区



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区的域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

The sample card includes:

- ①地区の概要**: Overview of the district, including population (4,268), household count (225), and a bar chart of the age distribution.
- ②地域住民からみた地域の状況**: A list of local issues and characteristics observed by residents.
- ③地区社協の概要と取り組み**: Summary of the district's social welfare association and its activities.
- ④地区内関係団体データ**: Data on local organizations and their status.
- ⑤地域福祉推進のポイント**: Key points for advancing local welfare.

- ①地区の概要**
 - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
 - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
 - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）
- ⑤地域福祉推進のポイント**
 - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏